

2023年2月13日

各位

会社名 株式会社ユーグレナ  
代表者名 代表取締役社長 出雲 充  
(コード番号: 2931)  
問合せ先 執行役員 C F i O 若原 智広  
(TEL. 03-3454-4907)

特別損失の計上、連結業績の前期実績値との差異  
および個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年12月期第4四半期において、特別損失を計上いたしました。また、2022年12月期の連結業績および個別業績と前期実績値の差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社における固定資産につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検討した結果、2022年12月期末において357百万円の減損損失を計上いたしました。

2. 2022年12月期通期連結業績と前期実績値との差異(2022年1月1日~2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(※)(A)	34,420	△6,565	△6,354	△5,038	△49.07
当期実績(B)	44,392	△3,455	△2,489	△2,666	△23.79
増減額(B-A)	9,972	3,109	3,864	2,371	
増減率(%)	—	—	—	—	

(※) 前期は決算期変更により15か月間の変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

3. 2022年12月期通期個別業績と前期実績値との差異(2022年1月1日~2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(※)(A)	9,526	△3,362	△2,625	△2,355	△22.94
当期実績(B)	6,464	△3,532	△2,199	△2,680	△23.90
増減額(B-A)	△3,062	△169	425	△324	
増減率(%)	—	—	—	—	

(※) 前期は決算期変更により15か月間の変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

#### 4. 差異の理由

##### (1) 連結業績

2022年12月期においては、2021年12月期に連結子会社化したキューサイ株式会社（以下「キューサイ」）および大協肥糧株式会社が通期で収益貢献したこと、2022年7月1日に連結子会社化した株式会社はこの収益貢献等により、44,392百万円の売上を計上いたしました。また、キューサイの連結子会社化時における棚卸資産のステップアップ（注）に伴い棚卸資産に計上した含み益を費用化した額が、前期比で2,977百万円減少したこと等により、営業損失、計上損失、親会社株主に帰属する当期純損失の額がそれぞれ減少いたしました。2022年12月期の通期連結業績の詳細は、本日発表の「2022年12月期 決算短信」をご参照ください。

##### (2) 個別業績

2022年12月期においては、ヘルスケア通販業界全般で広告投資環境が悪化した影響により、主に通販事業やOEM事業等の売上が年度を通じて減少したことで全体の売上が減少し、それに伴い営業損失の額が増加いたしました。また、それに加えて固定資産の減損損失を計上したこと、法人税等を計上したこと等により、当期純損失の額が増加いたしました。

（注）棚卸資産のステップアップは、連結時点の棚卸資産を、正味売却価額（売価から見積追加製造原価と見積販売直接経費を控除した金額）に評価替する会計処理となります。2021年6月30日をみなし取得日として連結子会社化したキューサイにおいて、連結子会社化時における棚卸資産のステップアップにより6,707百万円の含み益を棚卸資産に計上しており、商品販売による棚卸資産の払出しに伴って当該含み益が売上原価として費用化されます。

以 上